

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【公表番号】特表 2018-528638 (P2018-528638A)

【公表日】平成 30 年 9 月 27 日 (2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-037

【出願番号】特願 2017-566144 (P2017-566144)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 28/04 (2009.01)

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 L 1/16 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 W 28/04 1 1 0

H 0 4 W 74/08

H 0 4 W 72/04 1 5 0

H 0 4 L 1/16

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 14 日 (2019.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

e N Bであって、

コンテンツションウィンドウサイズを管理し、

第 1 のサブフレームにおける物理下りリンク共用チャネル送信に対応する H A R Q - A C K 値に応じて前記コンテンツションウィンドウサイズを増大させ、

前記 H A R Q - A C K 値のうち、所定の割合以上が N A C K であると判定された場合は、前記コンテンツションウィンドウサイズを増大させ、

前記第 1 のサブフレームは、H A R Q - A C K がフィードバックされたライセンス補助アクセスキャリアによる、以前の下りリンク送信バーストの開始サブフレームである、e N B。

【請求項 2】

間欠送信は、N A C K として数えられる、請求項 1 に記載の e N B。

【請求項 3】

前記コンテンツションウィンドウサイズを使用することによって、バックオフカウンタが生成される、請求項 1 に記載の e N B。

【請求項 4】

コンテンツションウィンドウサイズを管理することと、

第 1 のサブフレームにおける物理下りリンク共用チャネル送信に対応する H A R Q - A C K 値に応じて前記コンテンツションウィンドウサイズを増大させることと、

前記 H A R Q - A C K 値のうち、所定の割合以上が N A C K であると判定された場合、前記コンテンツションウィンドウサイズを増大させることと、

を含む、e N B 用の方法であって、

前記第 1 のサブフレームは、H A R Q - A C K がフィードバックされたライセンス補助アクセスキャリアによる、以前の下りリンク送信バーストを開始サブフレームである、e N B 用の方法。

【請求項 5】

間欠送信は、N A C K として数えられる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記コンテンツンウィンドウサイズを使用して、バックオフカウンタが生成される、請求項 4 に記載の方法。